

## 令和7（2025）年度 滋賀文教短期大学 ティーチング・ポートフォリオ

記入日	年度当初 7月 1日 / 年度末 2月 27日
氏名	野瀬 薫
子ども学科	准教授
学科以外の兼務職	

ティーチング・ポートフォリオとは、責務、理念、方法、成果、目標の5つの要素を含む教育研究業績について記録した資料です。年度当初に責務と理念を記入し、年度末に方法、成果、目標を記入します。本学では自己点検も兼ねています。

ティーチング・ポートフォリオは、本学の全専任教員が記入後、所属学科長に提出することとします。その後、学科長、学長等にてティーチング・ポートフォリオの内容の把握を行い、教育課程における教育力の質の向上に活用します。その際、自己点検・評価委員会やFD委員会等の関連する委員会や部署と連携することとします。

各教員が記入したティーチング・ポートフォリオは本学ホームページにて3年間公表します。

### 1. 責務（何を行っているのか）

#### ①担当科目

担当科目名	学科	学年
教育原理	子ども学科	1
教育方法・技術論	子ども学科	2
理科概論	子ども学科	1
国語科教育法	子ども学科	1
特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	子ども学科	2
生徒指導及び進路指導論	子ども学科	1
教職実践演習（幼・小）	子ども学科	2
教育実習（小）	子ども学科	2
基礎力プログラムⅡ	子ども学科	2
キャリア・デザイン	子ども学科	1

#### ②担任制度

担任（1年生）	有	担任（2年生）	有
---------	---	---------	---

#### ③委員会活動

運営協議会		SD委員会	
研究倫理委員会		地域連携委員会	
危機管理委員会		入学者選抜委員会	
自己点検・評価委員会	副委員長	広報委員会	
認証評価準備委員会	副委員長	高大接続・連携委員会	
図書委員会		保育・教育実習運営委員会	委員
学生委員会		ハラスメント防止委員会	副委員長
障害学生支援・学生サポートセンター運営WG		教員資格審査委員会	
キャリア支援委員会	委員	教員採用選考委員会	
教務委員会		湖国カルチャーセンター運営委員会	
FD委員会	委員長	授業料等減免者審査委員会	
奨学生奨学金審査委員会		紀要編集委員会	
学生調査委員会		教職実践演習運営委員会	委員長
教学調査委員会		学長推薦選考委員会	
不正調査委員会		衛生委員会	

#### ④実習業務

保育実習部会長		小学校部会長	
幼稚園実習部会長		子ども学科 実習事務	

#### ⑤びわ湖東北部地域連携協議会

\* 文部科学省「私立大学等改革総合支援事業」タイプ3 地域社会への貢献プラットフォーム型

協議会員		WG-A（産業振興に向けた産官学連携事業）学内代表	
協議会事務局		WG-B（地域コミュニティの活性化事業）学内代表	
WG-D（事業管理）学内代表		WG-C（地域を担う次世代人材の育成）学内代表	

## ⑥外部資金獲得に伴う研究活動

外部資金獲得	有 ・ <b>無</b>
助成者	
資金名	
研究種目	
期間	
助成金額（期間中合計）	
研究課題	
備考（分担者等）	

## 2. 理念（どのような考えに基づいて行っているのか）

教育理念	学園創設者松本富士之助「教育は人にあり、国家の未来は教育にかかっている。教育の向上には、まず、教育者の養成が重要である」
建学の精神	「知育」・「徳育」・「体育」の鼎立と調和の取れた人間形成
学科の教育理念・目標	【子ども学科】 幅広い知見と豊かな教養を備え、子どもに関わる専門的な知識・技能と実践力を修得し向上心をもって保育・教育の分野に広く携わることのできる人材の育成
個人の教育理念・目標	子ども学科教員の一人として、カリキュラムマップ等に則り、担当する教科を責任を持って指導すること等を通して、「教育的専門の知識」及び「教科専門の知識」をしっかりと身に付けた人間性豊かな学生を育成できるよう努める。 1 子ども理解の深化…学生が子どもをより深く理解し、適切な支援ができるよう努める。 2 実践力と理論の往還…教育・保育現場で即戦力となれるよう、理論的知識と実践的スキルの両方をバランスよく身に付けられるよう努める。 3 人間性と倫理観の育成…教育者・保育者としての責任感、倫理観、思いやりを持った人材を育てるよう努める。 4 多様性と包摂性への理解…子どもや家庭の多様性を尊重し、誰もが安心できる教育・保育環境を築く力を身に付けられるよう努める。 5 協働と連携の姿勢…保護者、地域との連携の大切さを理解し、チームで子どもを支える力を身に付けられるよう努める。 6 生涯学習者としての姿勢…卒業後も学び続ける意欲を持ち、教育・保育の質向上に努力する人材を育てるよう努める。

## 3. 方法（その考えをどうやって実現しているか）

授業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義・演習においては、パワーポイント等を用いた資料により視覚的にも理解を深められるように配慮する。講義の要点等をとらえやすくする。</li> <li>・講義中にペアや四人グループで意見を交流できるようなテーマに沿った「問い」や「ワーク」を多く設定する。</li> <li>・講義のまとめの段階で、「本時学んだこと」「本時考えたこと」を自分の言葉で表現し、ペアで意見交流を行う時間を設ける。</li> <li>・講義後の「振り返りカード」の記入を通して個別の質問を受けやすくし、学生の質問や感想に対して、できるだけ丁寧なコメントを心がける。</li> <li>・特別活動及び総合的な学習の時間の指導法をはじめ、可能な範囲で多くの体験活動を取り入れるように努める。</li> <li>・教科教育法の授業のみならず、他の講義においても可能な限り ICT 機器を活用する。</li> </ul>
授業以外 （学生支援等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生懇談会等の機会を有効に活用し、学生の思いをくみ取る。</li> <li>・学生から相談を受けた際には、同僚とも相談の上、チームとして真摯に対応する。</li> </ul>

## 4. 成果（その方法を行った結果、どうだったか）

授業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中、熱心に講義メモをとる姿が見られ、講義後の「振り返りカード」を見ても、学生の理解が深まったと思われる。</li> <li>・講義のまとめの段階で行った「本時学んだこと」を自分の言葉で表現し交流し合う活動により、「振り返りカード」記入の際にも自分の考えを適切に表現できる学生が増えた。</li> <li>・「生徒指導及び進路指導論」の講義において、生徒指導上の課題に対する事例研究やワーク等をより多く取り入れた。今後も事例研究や発展的な学習課題等を適切に提示し、学生が意欲的に学ぶことができるように努めたい。</li> <li>・前年度の講義では「あなたは、この授業の予習・復習など自主学習に1週間あたりどのく</li> </ul>
----	--

	らいかけましたか」という問いに対するポイントが低かったため、「教育原理」等の講義において復習用プリントを作成し配付した。しかし、今年度もあまり大きな改善は見られなかった。
授業以外 (学生支援等)	・学生懇談会等の機会を有効に活用し、学生の思いをくみ取るように努めた。学生から相談を受けた際には、学科のメンバーと相談の上、チームとして真摯に対応するように努めた。

## 5. 目標 (今後どうするか)

授業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も、ペアワークや学生同士の意見交流が活発にできる講義を目指し、学修テーマに迫る「問い」や「ワーク」の内容を工夫し、より有意義な意見交流となるように努める。</li> <li>・今後も、講義のまとめの段階で「本時学んだこと」「考えたこと」を交流する機会を設け、自分の学びを自分の言葉で表現し、発信できる学生を育てるよう努める。</li> <li>・今後も、「振り返りカード」等により学生の要望・思いをできるだけくみ取り、可能な限り丁寧なフィードバックに努める。</li> <li>・学生が、試験前だけでなく、日頃から意欲的に学ぶことができるように、予習・復習の課題や発展的な学修課題を適切に提示していきたい。</li> </ul>
授業以外 (学生支援等)	・担任制、個別支援、先生方との連携により子ども学科全体で、学生を支援していけるよう努める。教職実践演習運営委員会等、委員会の活動等についても、本年度の反省を生かしより充実した活動となるよう努める。

## 6. 記載内容に関する根拠資料

- ①令和7(2025)年度 滋賀文教短期大学 シラバス
- ②令和7(2025)年度 滋賀文教短期大学 科目別成績分布状況
- ③令和7(2025)年度 滋賀文教短期大学 担任一覧表
- ④令和7(2025)年度 滋賀文教短期大学 委員会構成名簿
- ⑤令和7(2025)年度 滋賀文教短期大学 組織図

以上